

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(吹田)実験研究棟(新産業生命学系)新築その他工事	階数	地上6F地下0F
建設地	吹田市山田丘	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	141 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年9月26日
敷地面積	800 m ²	作成者	株式会社総企画設計今川与志雄
建築面積	488 m ²	確認日	2024年10月17日
延床面積	2,650 m ²	確認者	株式会社総企画設計今川与志雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境効率 G (kg-CO ₂ /年・m ²) vs 環境負荷 L (kg-CO ₂ /年・m ²)	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	 Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.7
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 建物の特性に合わせて、使いやすさ、維持管理を当初から想定し計画している。リサイクル材を採用し、環境負荷を低く抑えられる建築物となるよう配慮した。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 シックハウス対策として、F☆☆☆☆の建材を採用するなど室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 配管部材は、耐用年数の長いものを採用し、維持管理に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 外皮性能の向上を図るとともに、LED照明を採用し、エネルギー消費の低減に務めている。	LR2 資源・マテリアル 節水器具を採用し、リサイクル材を積極的に使用するなど資源保護に努めている。	LR3 敷地外環境 広告物照明を設置せず、光害の抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		大阪大学(吹田)実験研究棟(医歯薬生命科学系)新営その他工事						
建設地		吹田市山田丘						
用途／区分		学校(大学等)						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	断熱性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分		評価対象外			評価対象外	
④	エネルギー消費性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分		評価対象外			評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分					6	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告						報告しない	
-------------	--	--	--	--	--	-------	--

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	4.4	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		